

シター

～板橋第十小学校特集～

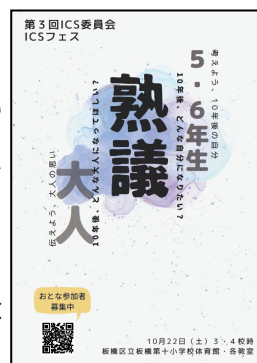
発行元:教育委員会事務局 地域教育力推進課 地域連携係 TEL3579-2619

板橋第十小学校のコミュニティ・スクール委員会では、10月22日(土)に5・6年生(165名)と大人(CS委員や保護者など約60名)がオンラインも活用して集まり、iCSフェスとして熟議を行いました。

今回は、iCSフェス開催に至る経緯や当日の様子についてご紹介します。

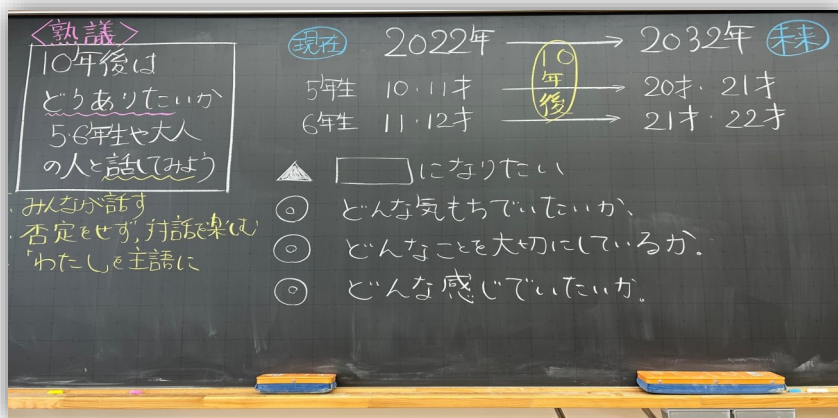
10年後、どんな自分になりたい? 10年後、どんな大人になってほしい?

板橋第十小学校の教育理念である【学校と社会をつなぎ、板十小の子どもたちの未来を拓く】について、「子どもの意見を聞いてみたい」、また「いろいろな大人と接してほしい」というコミュニティ・スクール委員の思いから、今回のiCSフェスを開催し、大人の参加者を広く募りました。



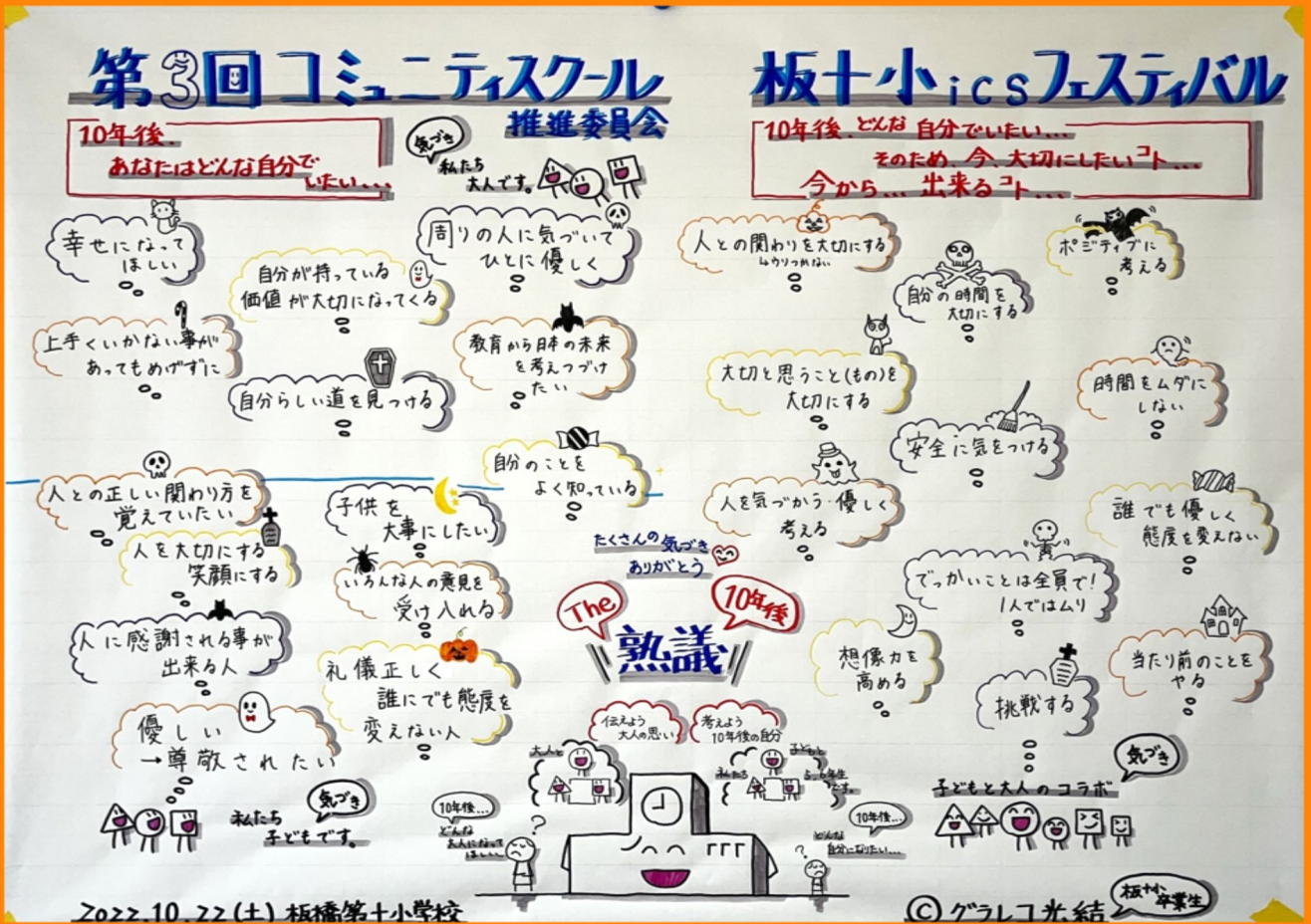
そこで、子どもの10年後について、「何をしたいか(Doing)」ではなく、「どう在りたいか(Being)」を熟議のテーマとしました。

子どもは「10年後、どんな自分になりたいか」考え、大人は子どもが「10年後どんな大人になってほしいか」考えました。子どもと大人がお互いの考えに耳を傾け、10年後の自分をイメージすることで、今大切にしたいことは何か、また10年後の自分に向けて今からどんなことができるかを考えました。



熟議スタート!

第一部では子どもと大人がそれぞれ5名ずつのグループに分かれて、子どもと大人が別々に考えを出し合いました。第二部では子どものグループに1～2名の大人が合流し、第一部で話した意見や考えを共有しました。子どもは、いろいろな大人と接することができ、大人は子どもの考えに耳を傾ける良い機会となりました。



コミュニティ・スクール委員と板橋第十小学校卒業生がグラレコ(※)を作成しました。

※グラフィックレコーディング(通称「グラレコ」): 絵(Graphic)でリアルタイムに記録する(Recording)こと

熟議を通して

子どもからは、「優しい大人になりたい」「家族を大切にできる大人になりたい」「自分の考えをしっかり持てる大人になりたい」などの意見が出ました。

大人からは「子どもの素直な声が聴けてよかった」「このまま純粋に成長してほしい」などの声が聞かれました。

今回の熟議を通して、協調性や努力の大切さ、目標を持つことの意味について考えることができました。また、今から目標に向けて少しずつ行動していくことが大切との意見を共有することができました。子どもたちの生の声を大人が受け止め、共有できたのは、iCSフェスの大きな成果ではないでしょうか。

板橋第十小学校では、今後も教育理念の実現に向けてiCSとともに取組を継続していくとのことです。今回の熟議をどう生かしていくか、期待されます。

CS委員研修～「熟議のファシリテーター」について～アーカイブ配信のご案内

9月14日(水)に、グリーンホールにて「熟議のファシリテーター」について、CS委員研修を開催いたしました。

都合が合わず来られなかった方や再度内容をご確認されたい方向けにアーカイブ配信を行っていますので、

是非ともご視聴いただき、今後のCS委員会の一助となれば幸いです。

こちらより動画をご覧ください。(視聴時間約50分)

